

令和 8 年度

埼玉医科大学大学院医学研究科医科学専攻

第 2 回入学者選抜試験問題

英 語

解答例

問 1

エジプト王家の墓から歯ブラシが発掘されているように、歯磨きは太古から続く、人類普遍の習慣である。古くは、中東やアジアにおいても、木の枝を口で吸いながら毛羽立てることでブラシにした。15 世紀後半には、ブタの首の毛を柄に植え付けた歯ブラシが中国から広まっていたが、ヨーロッパにおいては 19 世紀半ばまでは一定の富裕層しか入手できなかった。

問 2

南北戦争時、兵隊は弾薬の包装を歯で噛みちぎる必要があったし、固い乾物ばかり支給されたため、「6 本以上の歯」なる入隊基準があったとする歴史家もいる。第二次大戦下、安価な支給品のプラスチック製歯ブラシを帰還兵が故郷に持ち帰った。軍隊が国民の口内衛生に寄与したといえるだろうし、21 世紀の現在も、歯ブラシは国民にとってスマートフォンやパソコンや車などよりも毎日の生活に欠かせない必須アイテムだとする、MIT による調査報告もある。

問 3

プラスチックが分解するには相当の年月を要するため、1930 年代製の歯ブラシが自然界に残存していることがある。サステナブル・コーストライン・ハワイ創始者カヒ・パカロ氏のように海辺の清掃活動に献身する者もあれば、ナイロン製ブラシとプラスチック製の柄からの脱却を図るべく、工夫を凝らすデザイナーもいる。

問 4

The Long History and Serious Problem of Toothbrush across the World